

INFORMATION

ご利用案内

★休館日 毎週月曜日・第2火曜日・年末年始

ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

★開館時間 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

★観覧料

大人
一般 700円
団体(30人以上 100人未満) 630円
団体(100人以上) 560円
年間パスポート 2,000円

※高校生、中学生、小学生、及び小学校就学前の方は無料です。

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

ただし、コンサートイベント等ご利用できない場合があります。

※高齢者割引、障害者割引をおこなっています。

★交通 JR明石駅下車 東へ約1km(徒歩約15分)

山陽電車人丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)

車では国道2号線人丸前交差点から北へ約0.2km

第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km

★駐車場 普通乗用車・マイクロバス(約90台):

2時間まで200円(以降1時間ごとに100円)

中型・大型バス(8台):1回1,500円

★プラネタリウム
投影案内

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
平日	9:50 <small>(団体予約がある時のみ)</small>	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝	9:50	11:10 <small>(キッズラボ開場)</small>	13:10	14:30	15:50
学校長期休業中	9:50 <small>(キッズラボ開場)</small>	11:10 <small>(キッズラボ開場)</small>	13:10	14:30 <small>(キッズラボ開場)</small>	15:50

※投影時間約50分

※平日第1回目の投影は団体予約がある場合のみおこないます。

(残席があれば一般の方も入場していただけます。)

明石市立天文科学館 AKASHI MUNICIPAL PLANETARIUM

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2番6号
TEL : 078-919-5000 / FAX : 078-919-6000
e-mail: otowaase-tenmon@city.akashi.lg.jp
ツイッター : @jstm135e

<https://www.am12.jp/>



登録有形文化財
明石市立天文科学館
AKASHI MUNICIPAL PLANETARIUM

子午線とは

古い時代、方位や時刻を十二支で表し、真北を「子」、真南を「午」と呼びました。つまり子午線とは真北と真南を結ぶ線のこと、いわゆる経線のことです。一般に明石を「子午線のまち」と言いますが、これは「日本標準時の基準となる東経135度子午線上のまち」という意味です。



日本標準時子午線と明石市立天文科学館

太陽が真南に来る時を正午とする、日本各地の時刻（地方時）は図のように経度によって異なります。交通や通信が発達してくると、地方時を使っていては大変不便なことから、明治21年1月1日から東経135度子午線上の地方時を、日本全国で使うことになりました。これが日本標準時です。明石市立天文科学館は、東経135度の子午線の真上に1960年（昭和35年）に建てられた「時と宇宙の博物館」です。高さ54mの高塔は、そのまま日本標準時子午線の標識でもあります。塔頂には直径6.2mの大時計があり、いつも正確な時刻を知らせています。



J.S.T.M.とは？

Japan Standard Time Meridian
(日本標準時子午線)の略です。

星の友の会のご案内

星の友の会は、星空や天体、宇宙について、楽しみながら学ぶとともに、例会や観測会などでの情報交換をおこして、会員同士の交流をおこなっている会です。

【星友特典】

- ★例会の開催
- ★野外天体観測会・施設見学会等の開催
- ★天体観測会に無料で参加できます。友の会・天体観測会も開催
- ★友の会会報「135°の星空」の発行・配布
- ★館広報誌の配布やイベント等のお知らせ
- ★天文科学館ボランティア『天ボラ』に参加できます

[年会費]

- ★個人会員(小学4年生以上)
2,000円
 - ★家族会員(ご家族の方)
3,000円
- ※いずれも10月1日以降
入会の場合半額

MERIDIAN MAP

子午線マップ



1 トンボの標識 (1930年)

2 人丸前駅の子午線 (1991年)

3 国道2号線の標識 (2015年) (1933年)

4 最初の標識 (1910年)

5 モニュメント「刻」 (1989年)

6 トンボの標識 (レプリカ) (1984年)

7 大蔵海岸ランニングコース子午線表示 (2015年)

ボランティア募集のご案内

ボランティアの活動には3つのグループがあります。

- ★展示解説グループ 3階展示室で「太陽系儀」や「月の満ち欠け」の展示を中心に展示解説をおこないます。
- ★キッズルームグループ 4階キッズルームで、絵本の読みきかせなど、子ども達が楽しく遊べるようにお世話をします。
- ★天体観望会グループ 観測室の一般公開や天体観望会で、望遠鏡の操作や説明をします。



4F

日時計広場

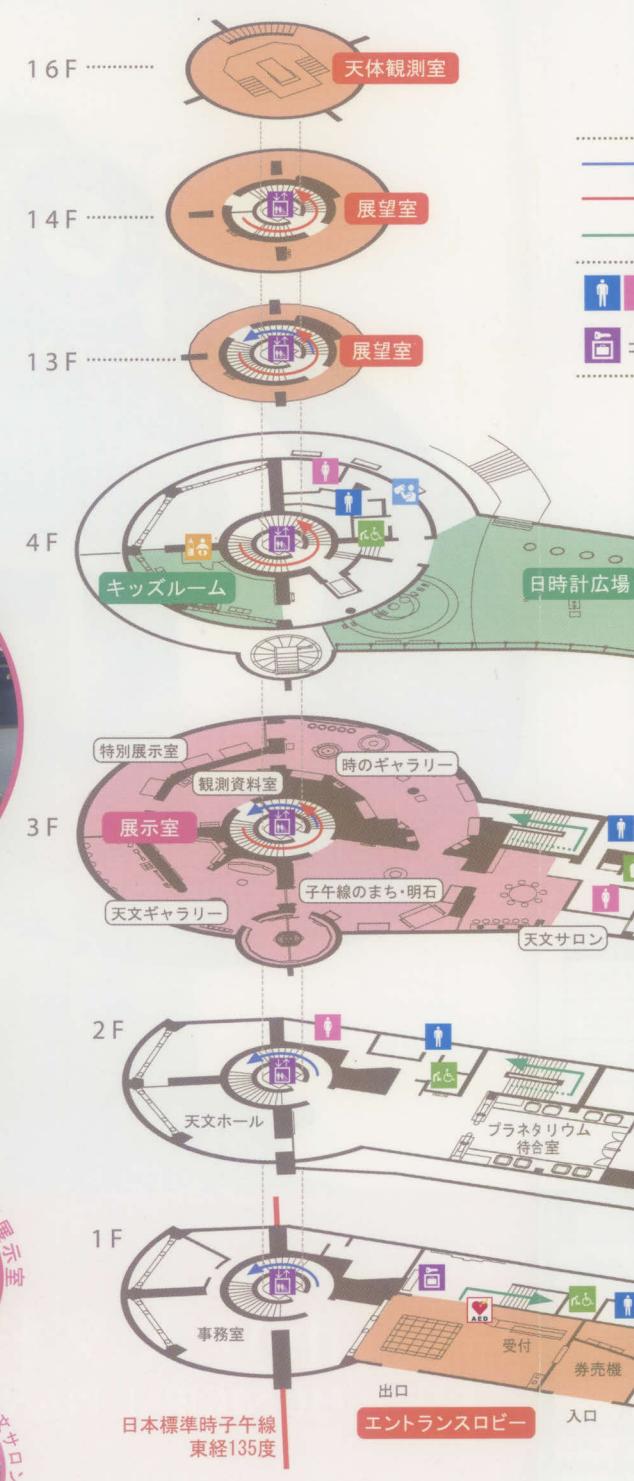
人間日時計やいろいろな形の日時計で、時を知ることができます。太陽系の天体を2000万分の1の大きさで体感できます。キッズルームでは、小さな子どもが遊べるスペースや授乳室があります。



3F

展示室

“時と宇宙の博物館”として、子午線、天文、天体観測、暦と時をテーマに展示します。特別展示室では定期的に展示が入れかわります。



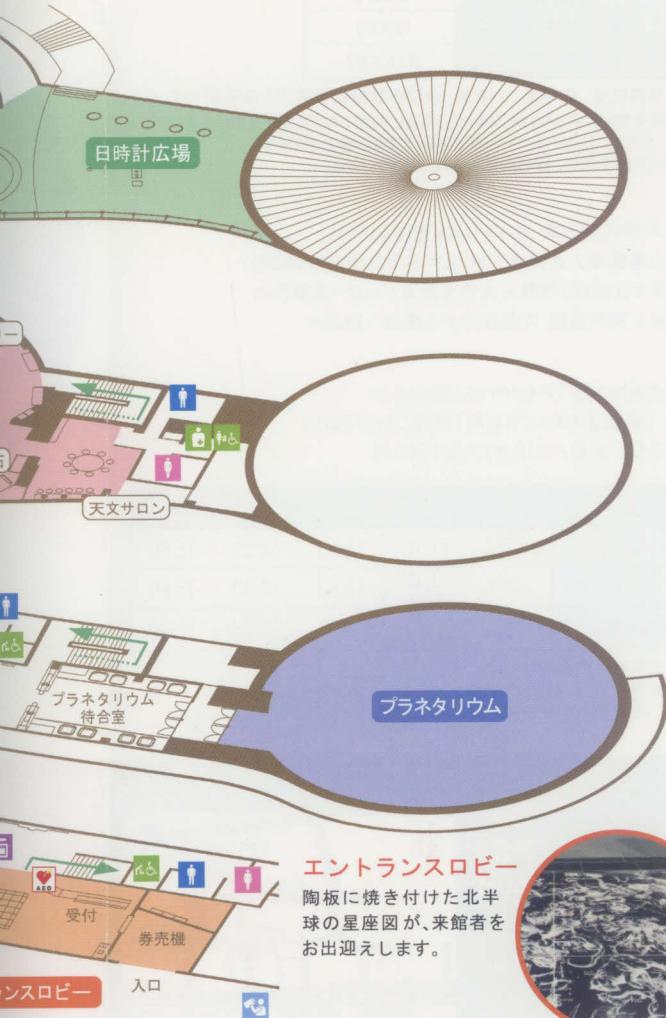
FLOOR GUIDE

フロアガイド

→ 1F・2F・3F・13F・14F

→ 3F・4F・13F・14F・16F

→ 1F・2F・3F



エントランスロビー
陶板に焼き付けた北半球の星座図が、来館者をお出迎えします。



1 F



プラネタリウム

当館の機械はカールツァイス・イエナ社製で
開館当時から稼働しています。自然と
そっくりの星空の下、生解説による
投影をお楽しみください。

稼働期間日本一、現役最古のプラネタリウム



天体観測室

口径40cmの反射望遠鏡を設置。月に1回程度「天体観望会」を開催しています。

16F

展望室

360度の大パノラマで明石海峡大橋が一望できます。

13F
14F

らせん階段

ビッグバンから人類誕生まで約137億年を365日におきかえたカレンダーや、
全天88の星座を見ることができます。

1F~
14F

2022年5月

天文科学館 News

★5月の休館日:9日(月)、10日(火)、11日(水)、16日(月)、17日(火)、23日(月)、30日(月)



プラネタリウム番組のご案内

★プラネタリウムの投影時刻等はホームページをご覧ください。

キッズ

プラネタリウム

★幼稚や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日の第2回目・第4回目のプラネタリウムです。



みなみのくにへほしそらツアー

☆4/23(土)~5/29(日)☆ 土日祝 11:10~、14:30~

明石を飛び出し、南半球で見られる星座を探しに行きましょう!



軌道星隊シゴセンジャー(皐月場所)

☆5/14(土)・15(日)☆ 11:10~ ※事前申込制

星と音楽の
♪
プラネタリウム

★素敵な生の音楽とともに星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。※事前申込制



☆5/21(土)☆ 13:10~

こども天文教室

★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

☆5/28(土)☆ 9:50~ テーマ:太陽のことをしりたいよう

プラネタリウムでのおねがい



※記念撮影は投影前か投影後にお願いします。



*こんな場合は…



- いびきが大きいとき
- 小さなお子さんが泣き止まないとき
- 大きな声で騒いでいるとき

など

係員が、お声掛けをさせていただいたり、場合によっては、プラネタリウムの外へ案内をさせていただくことがあります。

★皆さんが星空を楽しむことができるよう、ご協力をお願いいたします。

特別展のご案内

~5/22(日) つむらさんのおすすめ!
四季のほしそら名所案内

5/28(土)~7/10(日) 写真展「時計のある風景」

時と宇宙の博物館 明石市立天文科学館

22. - 5. 31
09:44

減免割引

350円

2022年 5月

明石市立天文科学館 News

★プラネタリウム一般投影のご案内★

5月 世界の星と伝承

世界には、ギリシャ神話の他にも、星にまつわる神話や伝説があります。

北の空に輝くひしゃくの形をした「北斗七星」は、おおぐま座の腰からしっぽにかけての星の並びです。おおぐま座は、ギリシャ神話では、妖精が姿を変えたものだと言われていますが、アメリカのインディアンの伝説では、北斗七星は、熊と熊を追いかけていた3人のインディアンに見立てられています。

南半球にも、星にまつわるお話を伝わっています。さそり座は、日本の星空では空低くに見えますが、南半球では空高くに輝きます。ポリネシア諸島では、さそり座の星の並びは天地創造の神マウイがニュージーランドを釣り上げた釣り針だと伝えられています。

また、インドネシアでは、南十字星は「ビンタン・ランランヤン(夙の星)」と呼ばれ、天女のお話を伝えられています。「空から降りてきた天女が、島の男と恋をして子どもが1人生まれましたが、天女はある日、天に帰ってしまいました。悲しんだ男は、子どもを寺に預け、森に隠れてしまいました。子どもが17歳になって父親を探して森に入りましたが、道に迷ってしまいました。すると母親の幻が現れ、『夙を夜空に上げて、これとそっくりの形をした星座を探しなさい』と言いました。子どもが夙の形の星座を探すと、南の方角がわかり、父親にも会うことができました。」と伝えられています。

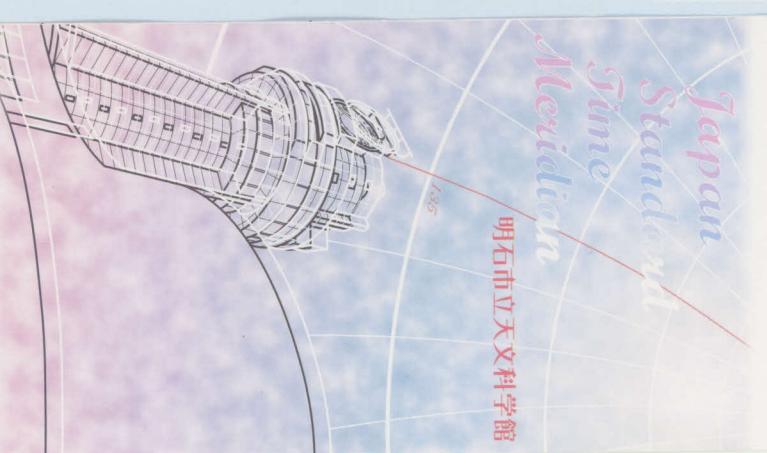
今月は、世界に伝わる星のお話とともに、南半球の星空を紹介します。



南半球の星空

6月 138億年宇宙の旅

宇宙は、今から138億年前に誕生しました。膨張を続ける宇宙の中で、星や銀河などの天体が生まれました。138億年の宇宙の歴史をたどります。



2022年5月の星空

※白色文字は星座の名前
ピンク文字は星の名前
※黄色文字は惑星や
星座ではない星の並び



自分が向いている
空の方角を下にして
この図をかざして空を眺めると、
夜空の星を探すことができます。

北の空高く、7つの星がひしゃくの形に並んだ北斗七星があります。北斗七星から、図のように北極星を見つけることができます。北斗七星はおおぐま座、北極星はこじま座の中に輝く星です。おおぐまのしっぽにあたる、ひしゃくの柄の部分のカーブを伸ばすと、オレンジ色に輝くうし座の1等星アークツルスと、白く輝くおとめ座の1等星スピカ、さらにその先にからす座が見つかります。ひしゃくから長く伸びる曲線は「春の大曲線」と呼ばれています。また、アークツルスとスピカと、しし座のしっぽに輝く2等星のデネボラを繋いでできる三角形は「春の大三角」といいます。

夜明け前には、土星・火星・木星・金星などの惑星が東の空から昇ってきます。22~27日頃には、惑星と月が並ぶため、惑星が見つけやすくなります。

5月の天文現象

- 1日 南太平洋、南米などで部分日食(日本からは見られない)
- 1日 金星と木星が並ぶ(明け方)
- 2日 月と水星が並ぶ
- 5日 立夏
- 5日 天王星が合
- 6日 みずがめ座カエタ流星群が極大
- 16日 南北アメリカ、大西洋などで皆既月食(日本からは見られない)
- 21日 小満
- 22日 月と土星が並ぶ
- 25日 月と火星・木星が並ぶ(明け方)
- 27日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 29日 火星と木星が並ぶ
- 31日 ヘルクレス座τ(タウ)流星群が極大

月の暦

- | | |
|-----|---------|
| 1日 | ● 朔(新月) |
| 9日 | ● 上弦 |
| 16日 | ● 望(満月) |
| 23日 | ● 下弦 |
| 30日 | ● 朔(新月) |

5月中旬
午後8時頃の星空

日の出・入(明石)

	日の出	日の入
1日	5:10	18:45
15日	4:58	18:56
30日	4:49	19:06